

印刷業界の新技术情報を三美印刷がお届けするメールニュース

sanbi-i-com 2009年11月号(No.111)

「JGAS 2009」に見る印刷関連技術の最新動向

日本における今年最大の印刷機材展「JGAS 2009」が、10月6日から5日間、東京ビッグサイトで開催されました。「JGAS」は、世界四大印刷機材展の一つで4年毎に日本で開催される「IGAS」の中間の年(2年後)に開催される日本とアジアを中心とした印刷機材展です。

今回は「JGAS 2009」に出展された最新印刷関連技術のいくつかをまとめてみました。



JGAS 2009 の入口風景



モリサワの「UD 書体」パンフ

■モリサワが「ユニバーサルデザイン書体(UD 書体)」を発表

ゆりかもめの国際展示場正面駅から東京ビッグサイトに向かう通路には、モリサワの「UD 書体」を宣伝する看板がずらっと並んでいました。

(1)ユニバーサルデザインとは、米国の建築家ロナルド・メイス氏が提唱した「障害者や高齢者だけでなく、年齢や国籍に関係なくすべての人に使い易いものを設計」ということです。この考えに基づく「UD 書体(フォント)」は、取扱説明書などの印刷物だけでなく、交通標識や地図、携帯電話やリモコンの操作表示などさまざまな場面で活用が広がっています。

(2)日本の UD 書体では、フォントメーカーのイワタと松下電器(現在のパナソニック)が共同開発した「イワタ UD ゴシック」などが先行していましたが、今年2月にモリサワも UD 書体の開発を発表していました。モリサワの UD 書体は、「文字のかたちがわかりやすいこと」、「文章が読みやすいこと」、「読みまちがえにくいこと」という三つのコンセプトを基に21書体が開発され、LGAS では UD 書体を盛り込んだ「MORISAWA PASSPORT」を今秋リリースするとアピールしていました。

■富士フイルムと大日本スクリーンがインクジェット方式の大型デジタル印刷機を参考出展

今回「JGAS」の最大の注目は、富士フイルムと大日本スクリーン製造がインクジェット方式・枚葉の大型デジタル印刷機を参考出展したことです。

(1)デジタル印刷とは、電子写真方式あるいはインクジェット方式による無版印刷のことで、小部数対応、「必要

なものを、必要な時に、必要なだけ」というオンデマンド対応、バリエブル(可変データ)対応という特長を持っています。

多品種・小ロット化、マスから One to One への市場の変化もあり、米国や欧州ではデジタル印刷機が高い成長率を示しています。

(2)通常紙媒体でのデジタル印刷では、これまで電子写真方式が主流でしたが、最近では高速化が可能でランニングコストも安くすむインクジェット方式のデジタル印刷機が数多く出展されるようになってきました。

JGAS で参考出展された富士フィルムの「Jet Press 720」は菊半サイズで毎時 2700 枚を印刷、大日本スクリーン製造の「Truepress Jet SX」は B2 サイズで毎時 1620 枚を印刷、両面印刷も可能になっています。両方とも印刷品質はオフセット印刷に迫り、多様な印刷用紙に対応でき、来春発売となっています。富士フィルムは「2000 部以下ならば、オフセット印刷より速い」と言っています。



富士フィルムの「Jet Press 720」



大日本スクリーン製造の「Truepress Jet SX」

■ 刷本の乾燥待ち時間をなくす LED-UV 印刷方式

今回もう一つの注目点は、枚葉印刷で即乾性の LED-UV 乾燥装置が提案されていたことです。

(1)通常油性インキですと刷本が乾くのに(裏に返すのに)半日ほど置いておく必要がありますが、即乾性の UV インキですと乾燥待ち時間がありません。UV インキはこれまで UV ランプで乾燥していましたが、今回の JGAS ではリョウビや三菱から寿命も長く、消費電力も大幅に削減できる LED ランプでの乾燥装置が出展されていました。

(2)一方小森コーポレーションは、LED-UV インキを使用しながらも、従来の UV ランプで乾燥させるというユニークな乾燥装置を出展していました。この方式でも LED-UV 印刷同等の効果が得られるということで、小森の説明員は「コスト面でも技術面でも現時点での最善策である」とアピールしていました。

【発行】2009 年 11 月 27 日 三美印刷株式会社経営企画室

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-16-7 TEL : 03-3805-7675

URL : <http://www.sanbi.co.jp>